

「環境を守る」会社 大谷清運



Re-Creation

あなたの環境をECOに繋げるお手伝い



大谷清運株式会社

フリーコール 0120-965-554



〒125-0032 東京都葛飾区水元1-3-13 TEL.03-3600-5561 FAX.03-3600-5563
E-mail/info@otaniseiun.com <https://www.otaniseiun.com>

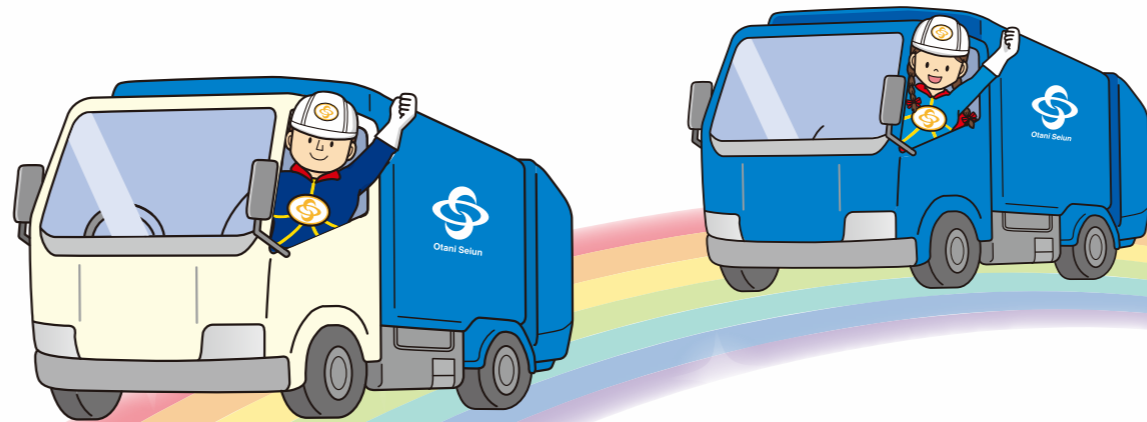


古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

2025/11/500 RS



大谷清運株式会社

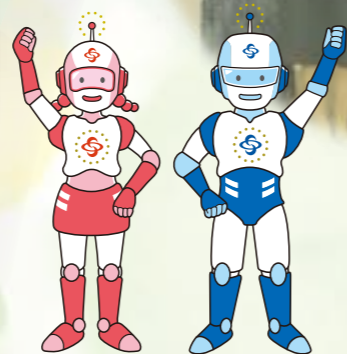


〈ウェルビーイング〉
**“幸せ” Well-being企業である為の
 パーパス経営の実践**

を掲げ、お客様に愛され、

選ばれ続ける企業として邁進している大谷清運。

今回は「働く環境と資源循環を守る環境」について迫ります。



INDEX

[目次]

Interview

多様性と成長を目指して — 3
大谷清運の未来像と挑戦

大谷清運株式会社 代表取締役社長 二木 玲子

大谷清運株式会社
 常務執行役員 経営企画室 管掌 櫻井 雅昭

Interview

支える、育む、そして導く — 8

大谷清運株式会社 代表取締役専務 羽田 裕美子

OTANIエンジェル Interview

OTANIエンジェルたちの声 — 9

Other interviews

外国人雇用について — 13

障がい者雇用について — 14

2024(令和6)年度 大谷清運(株)の主な取り組み — 15

2024(令和6)年度 大谷清運(株)の環境配慮への取り組み — 17

評価コメント — 18

多様性と成長を目指して 大谷清運の未来像と挑戦

(2025/6/12 14時~OSアネックス)

大谷清運の社長と常務が語る、女性活躍の捉え方、多様性を受け入れる職場環境の重要性、そしてリチウムイオン電池問題を解決するためのOSLiBソーター開発の挑戦。スタッフ一人ひとりが自己表現し、成長できる会社を目指すビジョンと、社会や環境への貢献への思いに迫ります。



大谷清運株式会社
常務執行役員 経営企画室 管掌

櫻井 雅昭

大谷清運株式会社
代表取締役社長

二木 玲子

職場の環境、 働き方について

女性活躍における課題とこれからの取り組みについて教えてください。



二木社長

大谷清運は社長と専務が女性であるため、男性が社長を務める会社とは、女性の活躍に対する考え方が異なるかもしれません。

私自身、女性として働く中で、性別による隔たりを感じたことはありません。

社会全体や業界において「女性を活躍させなければ！」と構える企業もありますが、私たちは性別で区別することなく、同じスタッフとして接しており、一人ひとりが頑張っ成長してくれることを望んでいます。

また、性別だけでなく、人種や障がいの有無などに関わらず、誰もが活躍できる多様性のある環境を目指していきたいと考えています。



櫻井常務

少し違う視点になりますが、「活躍」という言葉の捉え方が重要だと思います。

何をもちて活躍したと言えるのかは、人それぞれ異なるのではないのでしょうか。

社会における「女性活躍」と、私たち大谷清運の「活躍」は分けて考えるべきでしょう。

そもそも、性別を問わず何かを成し遂げたいと強く願っている人が、私たちの組織全体の中にどれほどいるのか、個人的には少し心配です。



二木社長

一人ひとりがその場で自分を表現する、やりがいを持って働くことが「活躍」であり、表立ち、何かを成し遂げることだけではないと思っています。

「女性活躍」という言葉は、性別に関係なく誰もが活躍できる社会への過渡期にある、この時代特有の表現かもしれません。

また、大谷清運という会社の中で、スタッフ自身が成長しながらできる仕事に取り組んでほしいと思っています。

なぜこの言葉が必要かという、会社だけでなく社会や家庭においても、まだ男女の役割が平等ではないからです。

家事や育児、介護を主に担う女性が自由に働くためには、不平等な現状の中で「女性活躍」とあえて言う必要があるのではないのでしょうか。



櫻井常務

女性にとっては、その定義は明確なのかもしれません。ずっと男性社会で働いてきた自分からすると「活躍」の定義とは何か考えてしまいます。

男性でも「活躍」していない人は沢山いますし(笑)



二木社長

その通りですね(笑)。

どう「活躍」するかは、会社側が決めることではなく、働く本人が決めることだと思います。

大谷清運としては、性別を問わず、働きたいと思ってくれた人に対して、どのような環境に置かれている人でもその人に合った仕事を提供できるようにしたい、正社員やアルバイトなど雇用形態に関わらず、一緒に働きたいと思っています。



櫻井常務

私の若い頃に比べ、今の夫婦の働き方や家庭での役割は大きく変化しているのでしょうか。

私は社会に出たことがゴールなのではなく、「どのように活躍するか」という視点を持つことも重要だと考えています。その点が、社長と私の意見の違いなのかもしれません。



二木社長

そうですね。私が伝えたいのは、性別に関係なく、一人ひとりが「大谷清運で働いてよかった」と思えるような、充実した人生になるよう仕事をしてほしい。

そして「女性活躍」という言葉に振り回されず、スタッフ全員にとって働きやすい環境を整えたいと考えています。

この言葉が、かえって男女を区別する要因になりかねません。私は性別関係なく、同じスタッフとして考えていきたいです。



櫻井常務

まずは仕事の中で、自分なりの目標を持つことが大切ですね。

女性社長として働く中で、どのように感じていますか？



二木社長

特別な才能があるわけでもない私が社長として働かせていただき、大変ありがたいです。やりたいことを実現する楽しさや、社会に役立っているというやりがいを感じています。もっと頑張らなくては、と思っています。

社長になったきっかけは、ホテルニューオータニでの勤務時代、社長室の近くで働いていた経験から、社長という存在に憧れを抱いたことと、また、父も社長であったことから大谷清運へ入社し、見習いや色々な業界と関わった後、父の後を継いで社長になりました。

二木社長と一緒に働いてどのように感じていますか？



櫻井常務

社長と働く上で、性別は関係ないと思っています。大切なのは、上司とどう付き合うかです。上司の性格を見抜いて相談に乗ったり、意見を伝えるタイミングを計ったりすることは、性別に関わらず重要です。「誰が上司で、誰が部下か」「誰の指示で動いているか」という意識を忘れずに仕事に取り組んでいます。

社会・環境への貢献

OSLiBソーターの開発過程で大変だったこと



二木社長

令和5年5月、RE-BORN2010(第二工場)で火災が起き、近隣住民に謝罪に行った際、「次はないからね」と言われました。消防署の現場検証から、原因はリチウムイオン電池と判明しました。それからリチウムイオン電池の危険性を環境省や国会議員に訴える中で櫻井常務が当社へ入社し、「じゃあ、自社で選別システムを作ったら？」と提案されたのがきっかけです。世間に対して「なんとかして！」と言っていた会社が自社でそのシステムを作るということは、自分でもすごいことだと思います(笑)



櫻井常務

私が持っていたシステムのイメージは、空港にある手荷物検査装置でした。

新型の手荷物検査機は360度検査することができるので、これならリチウムイオン電池の発見に活用できるのではないかと思ったのです。

しかし、手荷物検査機は海外製品で高価だと分かり、ネットワークを駆使して専門家を紹介してもらい開発を進めました。私自身はX線の事はよくわかっていませんが、得意な人を集めればよいと思ったわけです。

要はやりたいことがあれば、自分にその技術がなくても、動いてそれぞれのプロを集め、やりたいことを説得して、働いてもらうことが大切ということです。

動けばチャンスは生まれる。恥ずかしがらずに挑戦することが重要です。



二木社長

OSLiBソーターは櫻井常務がいなければ、自社で開発しようと思いつきませんでした。櫻井常務はあらゆるネットワークを駆使して作ってくれました。

今後、このシステムが活用され、少しでも火災が減るようにリチウムイオン電池の危険性を広く周知していきたいです。

OSLiBソーターの実用化に向けて



櫻井常務

このOSLiBソーターは検査をする部分はできたのですが、実用化に向けて大量処理をする必要があります。

供給機の開発と発見からどのように破砕機へ入れるかが課題になり、これも他の会社との連携が必要になると思います。

また、これで完成ではなく、これからがスタートなので誰がこの意思を継いでくれるのかを考えてもらいたいと思います。



二木社長

今後実用化された際には、少しでも処理施設での火災が減るようにこのシステムがどんどん活用されると良いと思います。

リチウムイオン電池を危険なもの一括りにするのではなく、安全性の高いリチウムイオン電池もあるのでこのような機械を作りながら周知していきたいです。

買う側も安易に買わないようにリチウムイオン電池に関する正しい知識を伝えていく必要があると思います。

大谷清運の未来像

大谷清運をどのような会社にしていきたいですか？



櫻井常務

仕事は人生の大半を占めているので、自己表現できる場所が会社として重要で、「今、自分が何をやりたいのか」を考えながら働くことが大切だと考えています。

先ほど活躍について話しましたが、他の人からの評価ではなく会社で自己表現できたのか、その点において従業員の皆さんが頑張りどころや生きがいを感じられるような会社であれば成長できると考えています。



櫻井常務

どのような職種であっても昨日から今日、どんな成長があったか、前進したかという気持ちを持てるような会社でありたいと思います。



二木社長

常務が言うように、仕事は自己表現できる場所、自分が成長できる場所でありたいですね。

労働時間は、働いている人にとって大事な時間だと思うので、仕事が充実していればその人の人生も充実したものと言えると思います。

また、大谷清運は、世の中に必要とされる会社でありたいと思っています。それは廃棄物処理に限らず生活環境の保全であったり、地球循環や資源循環を守る会社になりたいのです。労働環境を含め、会社全体がどの方向へ向かっているのかを共有する必要があると思います。

仕事を通じて自然循環の大事な一角を担うことがやりがいを感じられるますし、安定した職場を提供できると思います。

この気持ちを今後も受け継いでいってほしいと思っています。

仕事の中で
目標を持つことが
大切！

「女性活躍」という
言葉に振り回さず
働きやすい環境で。



「働く環境と資源循環を守る環境」 二つの「環境」を大切にする大谷清運



- 環境の中でも人が働く環境と、資源循環を守る環境、2つの環境を大切にしている会社である
- 様々な職種の人が働いておりそれぞれが連携していることから、様々な働き方や場所を選択して活躍できる
- 社長と専務が女性であることから男女で差別されることなく働ける
- 人が生活している以上廃棄物は排出されるものであり、環境問題は絶えず拳がり続けるのではない



OTANIエンジェルたちへのインタビュー

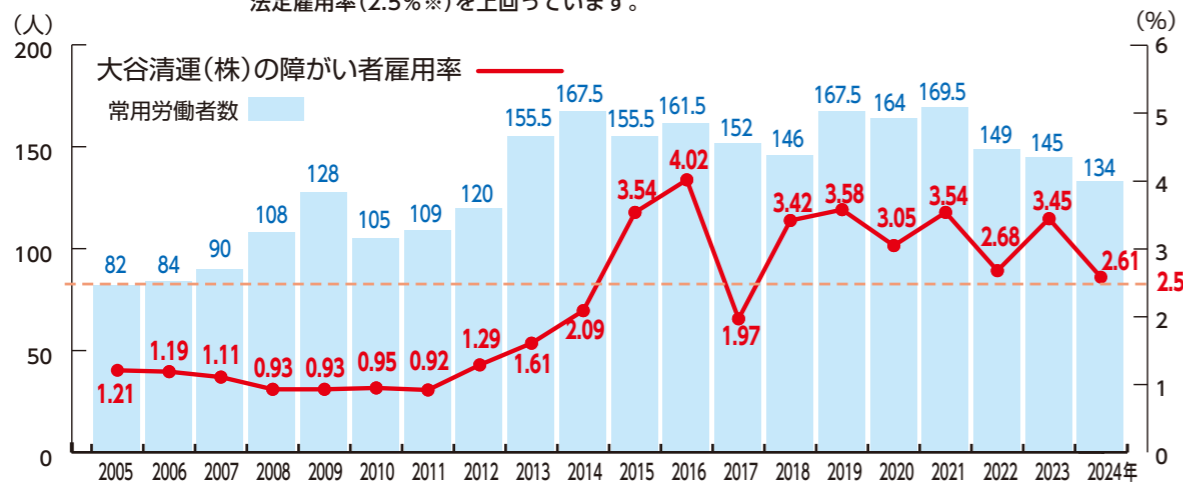
- 様々な仕事内容の様々な年代の社員に話を聞き、それぞれの仕事への思いや働き方を探る

外国人雇用・障害者雇用

- 雇用が増加傾向の外国人労働者や、障がい者として働く社員に直接話を聞き、職場環境の整備や社会的理解といった課題への対応や、新たな価値観を学ぶ

障害者雇用推移

大谷清運(株)のRE-BONE2000(第1工場)設置とともに障がい者への就業機会の創出として就労支援を始めました。2024年6月1日時点の障がい者雇用率は2.61%となり民間企業での障害者の法定雇用率(2.5%※)を上回っています。



※厚生労働省による東京都民間企業での障害者の法定雇用率は2.5% (2024年6月1日現在)

創業者の父から大谷清運を引き継ぎ、社長の二木玲子氏とともに、代表取締役専務として大谷清運の成長を牽引してきた羽田裕美子氏。

資源循環という大きなテーマを掲げながら、社員一人ひとりの働く環境も大切にする大谷清運の強みについて、インタビューを通じて探ります。

支える、育む、そして導く

(2025/6/10 14時~OSアネックス)

大谷清運株式会社 代表取締役専務 羽田 裕美子



専務就任までの道のり

私は最初から役員ではなく、経理部員として入社しました。その後、創業者である父が社長を退き、当時専務だった二木玲子氏が社長に就任したことで、専務のポストが空き、私が専務になりました。

しかし、母がALSという難病にかかり、父が介護のために会社との距離を置くことになり、姉妹で会社を支えることになりました。それから、二木社長が対外的な仕事、私が社内業務や従業員の管理を担当する二人代表体制が始まりました。私は経理、労務、採用などを担当し、当時は70人の従業員全員の顔と名前を覚えられるほどでした。

役員としての挑戦

役員として大変だったことより、残念だったのは現場で人手が足りない時に力になれなかったことです。性別による不便は特に感じませんでした。社長とは役割を分担しており、社長が外で活躍できるよう、私は社内で従業員を支え、会社の第三の目として機能していました。一人ではなく、社長と二人で支え合えたことで、この25年間大きな苦労はありませんでした。



仕事と育児の両立

入社時、子どもたちは小学生と中学生でした。手がかかる年齢ではなかったので、仕事と両立できました。朝は時間に余裕を持って出社し、夕方子どもたちとほぼ同じ時間に帰宅してました。今でも、子育て中の社員には「子どもの保護を優先してください」と伝えています。仕事も大切ですが、親が頑張る姿を見せることは子どもにとっても良い経験になります。ただ、子どもが寂しい思いをしないよう、学校行事や病気の時には必ず駆けつけるようにしていました。

誰もが長く働ける環境

社員がやりがいを持って働ける環境を目指しています。性別に関わらず、誰もが責任ある仕事を任されたいです。仕事が楽しいと思えること、そして誰もが意見を言いやすい環境が大切です。会議で意見が出ない時でも、みんなが話せる雰囲気を作り、全員の力を結集すれば、どんな困難な目標も達成できると信じています。社員一人ひとりが仲間として力を合わせることで、会社はさらに成長するでしょう。単に給料のためだけでなく、仕事に充実感や満足感を感じられる会社にしていきたいです。

- 1 業務内容について/勤続年数 2 大谷清運へ入社したきっかけは? 3 大変だったことや苦勞されたこと
 4 仕事のやりがいを感じる瞬間は、どのような時ですか? 5 日常生活での意識や認識が変わったことはありますか?
 6 女性が長く働き続けるためにはどのような環境が必要だと思いますか? 7 今後、新しく挑戦したいことや頑張りたいこと



環境事業部

RE-BORN2000 山口ミイさん RE-BORN2000 鈴木由美子さん



山口ミイさん

- 1 杉並区と葛飾区から回収された廃プラスチックの選別を担当しています。勤続年数は12年になります。以前はリボーン2010で働いていましたが、3年前にリボーン2000に異動しました。
- 2 以前勤めていた会社が倒産し、仕事を探していたところ、近所の方にこの仕事を紹介してもらったのがきっかけです。紹介して下さった方の旦那様もここで働いていたんです。
- 3 リボーン2010からリボーン2000に異動した際、同じような物でも選別の方法が異なるため、その違いを理解し、慣れるのが大変でした。
- 4 私たちの仕事は決して綺麗だとは言えません。しかし、「誰かがやらなければならない仕事」です。社会の役に立っているという実感が、大きなやりがいにつながっています。
- 5 ごみに電池が混入している現状は、本当に残念に思っています。選別する側の気持ちがかかるようになったからこそ、排出する際に、もっと徹底して分別してほしいと感じるようになりました。この仕事を始めてから、ごみに対する認識が大きく変わりましたね。



- 6 家族の協力が不可欠だと感じています。特に高齢世代では、家事や家族の世話を女性が担うのが当たり前という意識が根強く残っています。この認識が変われば、女性はさらに働きやすくなると思っています。
- 7 健康で長く仕事を続けていくためにも、身体が思うように動くよう、日々の自己管理を徹底していきたいです。

- 1 廃プラスチックの選別作業を担当です。ライン上で流れてくるプラスチックから、食べ物や液体の汚れが付着した容器、ペットボトルや缶、そして危険物などを取り除き、再利用できないものを分別する作業です。派遣社員として3年間働いた後、契約社員として12年間勤務で、勤続年数は合計で15年になります。2年前に勤続10年で表彰を受けました。
- 2 最初は日雇い派遣で働き始めました。当初は、廃棄物の臭いやライン作業に慣れず、気分が悪くなることもありましたが、それでも「3日頑張れば慣れる」と自分に言い聞かせ、派遣会社に連絡して働き続けました。派遣期間が満了するタイミングで社長に声をかけてもらい、契約社員として入社しました。その時の仲間も何人か、今も一緒に働いています。
- 3 慣れた場所で新しい仕事を探すのは大変なので、長く続けられるなら続けたいと思いました。

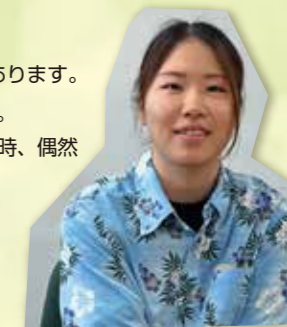
鈴木由美子さん

- 4 仕事のスピードと精度を上げるために、ホームセンターや100円ショップに行った際、商品のパッケージや素材を見て「これはどう分別されるか」を常にイメージするように心がけています。また、作業が上手な人の様子を観察し、学ぶことも意識しています。
- 5 自分が指導した人が、今まで選別できなかったものを適切に分けられるようになった時に嬉しさを感じます。
- 6 職場の雰囲気良くするために、女性同士のコミュニケーションは大切にしています。女性の人数が少なくても男性と同じ環境が提供されることが大切だと思います。
- 7 一日でも長く、この現場で働きたいと思っています。健康に気を付けながら、社会に貢献し続けたいです。



環境事業部

RE-BORN2010 白岩亜加里サブリーダー RE-BORN2010 清水愛美さん



サブリーダー 白岩亜加里さん

- 1 外部から工場に搬入されるごみと、次の処分場へ運ばれるごみの量を集計し、データを管理する業務があります。集計したこれらの数字（搬入量や処分量）は、社内ホームページに掲載するために関係部署に報告します。
- 2 以前はデパ地下で店長をしていましたが、勤務先が閉店することになり、仕事を探していました。そんな時、偶然知人に誘われたことがきっかけで入社を決めました。
- 3 多くのドライバーさんの顔と名前を覚えることや、持ち込み禁止物の細かな規定を判断することに苦勞しました。これは工場の人と積極的にコミュニケーションをとり、都度確認することで乗り越えました。また、入社後しばらくは本社の人たちと直接顔を合わせる機会がなく、電話でのやり取りが中心だったため、誰がどの業務を担当しているかわからず、業務連携に苦勞した時期もありました。
- 4 窓口業務として、お客様が待ち時間でも優しく接してくれたり、「他の業者ではなく、大谷清運を選び続けてくれている」と感じたりするときに、大きなやりがいを感じます。また、事務処理では、1日に50~60枚にもなるマニフェスト（産業廃棄物管理票）の処理を他の業務と両立させ、期日までにすべて終わらせたときには達成感を覚えます。
- 6 女性が多い職場での勤務経験から、女性同士の意見の衝突を緩和してくれる男性社員がいることに、一種の安心感を覚えます。今後、女性がより働きやすい制度がさらに充実することを期待しています。
- 7 個人的な目標として、パッカー車や大型トラック、フォークリフトなどの免許取得を考えています。これは、社員の急な体調不良や欠員が出た際に、自分が動けるようになることで会社へ貢献したいという思いがあるからです。社員の急な体調不良や欠員が出た際に自分が動けるようになることで、会社へ貢献したいという思いがあります。



清水愛美さん

- 1 電話対応や、産業廃棄物管理票であるマニフェストの伝票処理などの事務業務を行っています。
- 2 母の紹介で入社しました。その時、ちょうど事務員さんが退職された時期で、私も将来に繋がる仕事に興味があり、社員として長く働ける場所を探していたタイミングだったので、ぜひやってみたいと思って志望しました。
- 3 入社して間もない頃、まだ産廃に関する知識が全くない時に、お客様から電話で「これは持ち込めますか?」と聞かれて困ってしまうことがありました。また、繁忙期には車が立て続けに来るので、その迅速な対応も大変でした。
- 4 事務処理が積み重なったマニフェストをすべて処理し終えた時に達成感を覚えます。また、やりがいとは少し違いますが、工場から搬出に行ったドライバーさんが無事に帰ってくると、毎回よかったと安心しますね。
- 6 私はもう子どもを二人出産しているので直接的な関係はないのですが、育児や産休に関する制度が整っていると、女性の方は安心して働けると思います。また、セクハラに対する窓口が設定されていることも、使ったことはなくてもあるだけで牽制になり、安心できます。環境とは少し話が逸れますが、大谷清運のマスコットキャラクターが男女で存在していることが嬉しいです。男女のキャラクターがいることで、性別に関係なくスタッフを大切にしていると感じます。
- 7 今後は、産業廃棄物に関する専門知識をもっと身につけたいと考えています。また、知識を深めるための資格チャレンジもしていきたいと思っています。



OTANIエンジェルたちの声

- 1 業務内容について/勤続年数 2 大谷清運へ入社したきっかけは? 3 大変だったことや苦勞されたこと
 4 仕事のやりがいを感じる瞬間は、どのような時ですか? 5 日常生活での意識や認識が変わったことはありますか?
 6 女性が長く働き続けるためにはどのような環境が必要だと思いますか? 7 今後、新しく挑戦したいことや頑張りたいこと

物流事業部 運輸課 鈴木弘美さん グランドサービス課 斗星澄子さん

- 荒川区の可燃ごみの収集運搬を担当するドライバーをしています。
- 大谷清運に知り合いがいたので、「気心知れた仲間と一緒に仕事ができれば楽しいだろうな」と思い志望して入社しました。実際、みなさん優しい方ばかりで、仲間に恵まれていると感じています。毎日、楽しく仕事をさせてもらっています。
- ドライバーなので、事故は絶対に起こせないという非常に強い緊張感があります。道路では危険な運転をしている車や、不意に出てくる自転車などもいるため、毎日緊張しながら目配りして運転する点が最も大変だと感じています。
- 一緒に乗っている作業員2人も女性なのですが、ごみを収集していると、通り過ぎた住民の方がわざわざ戻ってきて「女性3人でやってるの!」「女性で頑張っているなんてかっこいい!」と言ってくれたり、「頑張ってください」「いつもありがとう」と声をかけてくれたりします。年配の方の中には、時間になると外で待っていて、手を振ってくださる方もいます。そのような温かい交流があると、「あ、この仕事をやっていて良かったな」と心から思います。
- やはり女性なので、体調面での不安がつきものです。そのため、周りの方々と一緒に働く仲間たちから体調への理解を示してもらい、お互いに協力し合うことが不可欠だと思います。
- ご迷惑をおかけしないためにも、何よりも事故を起こさないよう、常に気を付けて安全運転に努めたいと思っています。

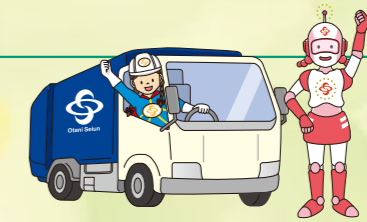


運輸課 鈴木弘美さん



グランドサービス課 斗星澄子さん

- 豊島区で、可燃ごみの回収作業員をしています。
- 長年勤めていた会社がなくなり、就職活動をしていたのですが、年齢を聞くだけで面接をしてくれない会社もありました。そんな中でご縁があり、大谷清運へ入社することができました。
- 鼻を詰んで罵声を浴びせてくる人もいますし、ただごみを積むだけに見えるかもしれませんが、一般の方がいれば優先して手を止めなければなりません。ごみは袋の中に綺麗に入っているわけではないので、楊枝や注射針など危うく刺さりそうになることもあります。
- ごみを収集していて、住民の方から「ありがとうね」「助かってるよ」「あなたから元気をもらってるよ」と直接声をかけていただけるのが、本当に嬉しいです。女性の作業員はあまりいないため珍しいのか、皆さん温かく応援して下さります。
- 男性や女性という性別を特別に意識したことはありませんが、身体の衰えや、女性ならではの力のハンデは感じます。重いときははっきりと「重い!」と言えば、周りの仲間が手伝ってくれるので助けられています。
- この仕事に就いてから、とても健康的になりました。夜9時くらいになると自然とウトウトして寝てしまい、朝4時にはパキーンと目が覚めます。ただ、やはり身体の衰えを感じることも事実です。皆さんと一緒に働くためにも、そして自分の生活のためにも、一日でも長く元気でいたいと思っています。また、辛いときでも、社長の「愛ある丁寧な仕事」という言葉を忘れずに、日々作業に取り組んでいます。



INTERVIEW

業務部 清掃業務課 (人事院) 滝口裕子さん

- 現在はペットボトルや缶、瓶の回収と分別作業です。
- 友人の紹介です。以前、ここで働いていた方がケガをされて欠員ができ、「入ってみたいか」と提案されたことがきっかけで入社しました。
- 当初、作業員として働き始めた頃は、ペットボトルの回収だけでも量が多いと重くて大変でした。他にも、回収するコースを覚えることや、暑い日の作業は特に大変です。しかし、私は「やり始めるとやめられない」という性格のため、作業員として10年間、そして人事院でも8年間と、長く働き続けることができています。
- 一日の仕事が終わると、「終わったな」という明確な達成感があります。また、分別が不十分で汚れているごみや、飲み残しでゴミ箱周辺が汚れていることも多々あります。そうした場所を綺麗に片付けることができた時には、特に達成感を覚えます。
- 休憩室やロッカーなど、職場の環境を物理的に整えることが、長く働く上で重要だと思います。
- 人事院 (は来年の3月まで担当することが決まっているので、まずはそれまでしっかり頑張りたいです。私の健康の秘訣は、カラオケと社交ダンスです。あとは、適度なお酒ですね。毎日350ミリリットルのビールを飲んでいて、それが美味しく飲めるかどうかで、自分の健康状態を把握しています。



清掃業務課 滝口裕子さん

企画事業部 リスリム デザイナー 大石荘子さん

- 主に印刷物のデザイン制作を担当しています。社内・社外の広報活動を支える、幅広いツール (組合報、機関誌、ポスター、社内報、ノベルティなど) を手がけています。
- 以前のデザイン職を退職後、当社の企画事業部がデザイナーを募集していることを知りました。これまでの経験を活かし、広報活動を通じて会社に貢献できると考え、入社しました。
- 年間を通じて社内・社外の制作物が並行するため、緻密なスケジュール管理が求められます。また、デザインに対する多様な意見を統合し、最適な形に落とし込む作業は重要なプロセスです。時間で区切りにくい業務の性質上、残業が発生することもあります。より良い広報物を作るために尽力しています。
- 制作物が配布された際、皆さんから「良い反応をいただけること」が最大の喜びです。様々な要望に対し、専門外の分野でも調査しながら進めた努力が報われ、メッセージが効果的に伝わった瞬間に大きなやりがいを感じます。
- 仕事を通じて環境保全やリサイクルについての意識が高まり、エコを意識するようになりました。その具体的な取り組みとして、以前プラスチック製だった会社のノベルティのクリアファイルを、紙製のファイルに提案・変更し制作しました。小さなことですが、会社の広報物から環境への配慮を形にできたことは、私自身の認識の変化の表れだと感じています。
- 緊急を要する事情に対応できる柔軟な勤務制度を整えることで、スタッフは不安なく職務に専念し、長期的に会社へ貢献することが可能になるのではないのでしょうか。
- デザインソフトの内容は日々進化しているため、これに対応できるスキルアップに注力していきたいです。新しいツールなどを積極的に取り入れ、表現方法の幅を広げていくことで、より質の高い広報制作を目指します。



デザイナー 大石荘子さん



環境事業部 RB2000

アーバンテクノロジーリサイクル株式会社
RS 事業部 衛生管理者 所長 薄井良平 様

1 外国籍の雇用においてどのような体制が弊社には求められるのか

国籍を理由に不当な差別や労働条件、待遇などの格差がないようにすることです。

人権を尊重する、違いを認め、日本語が不自由な方に備えて業務指導や教育、作業手順表や業務内容が英語だと理解がしやすいと考えています。

2 派遣する側としてどのような留意点があるのか

在留資格の確認を徹底しています。目視で確認だと偽造の可能性があるので、携帯アプリでスキャンすることで、正常なものかどうかを確認しています。

3 コミュニケーションにおいてどのような工夫があるのか

英語をしゃべる方がいないので、翻訳アプリを使用しています。それが優しい日本語や言い方変えて工夫しています。電話をしてもらうことがあるので事前に会話の練習をしてそこで勉強してもらい、日本語がうまい外国人がいるので、その人に通訳してもらいます。

4 人の向き不向きをどのように判断し、適性がある会社を紹介しているのか

履歴書を確認して今までの経験を参考に見極めます。職場の環境「暑い、寒い、匂い」の雰囲気伝えることで、実際に働くイメージをしやすいように説明しています。僕らが選んで本人が選ぶ。何か所か見てもらって決めてもらうようにしています。

5 入社後はどのようなフォローをしているか

電話やメールだと言いつらいことがあるし、訪問回数を増やして、巡回をして日本語によって伝えにくいこともあるので。健康診断なども一緒に行き、問診票なども一緒に書きます。

仕事に関して、本人の要望にそって移動も勤めるし、もう少し頑張ってみればということもあります。



キャワイさん

1 業務内容

フォークリフトを動かし、ベール、ブロック されたものを移動しています。倉庫の整理、在庫管理のチェック、搬入車の誘導等を行っています。

2 大谷清運へ入る前と入った後の印象の違い

まったくない。実際やったら変わりませんでした。もともと機械をやっていたから日本のフォークリフトも同じのだったので特に困らなかったです。

3 仕事の中でコミュニケーションの壁を感じたか

皆と仲いいから、まったく感じないです。インド語7割、日本語、英語少し、その他何か国語話せます。日本語検定3級を持っています。日本にくる前からガイドで手伝ったりしていたので、日本人とつながっていました。「日本に勉強しに来ない？」と誘われたのがきっかけで日本へ来ました。

4 大谷清運の仕事でやりがいを感じる時

基本ポジティブです。今日も一日頑張るって思っています。仲間がお休みになるとその分まで頑張る気持ちになります。朝起きるのが好きだし、仕事をやりたいという気持ちがあるので仕事へ行かないとつまらないです。

環境事業部 RB2018

特定非営利活動法人 WEL`S
理事長 社会福祉士 橋本一豊 様

1 スタッフの人が長く働き続けられるためにどのような取り組みをしていますか？

途中ではありますが、「目標設定」と「振り返り」です。自分も含め目標設定が一番難しく、何を目標に仕事したいかみんなわからないと思うんです。目標設定をするときは自分自身が大切にしてきたことやこれまで熱心に取り組んだことから自分のやりたいことを確認し、設定をすることでズレが生じないと思っています。

仕事は本来価値を生み出すものですがいつの間にか業務をこなすことや作業する、という認識になっていると思います。本来この仕事を通して自分自身が成長したいとかここまでたどりつきたいとか自分のなかにある階段を可視化していくことが重要だと思っているので、今目標設定に関しては重要視して取り組んでいます。



2 障害のある方が働ける場所を増やすためにどのような工夫が必要だと思いますか？

現在は広がりつつありますが、「ジョブ型雇用」という形態があるんです。どのような仕事がある会社であって、どのような人にその仕事をしてほしいかというスキルとのマッチングが必要だと思っています。日本は偏見が高い国で、障害と聞くと「障害者」というふうに思ってしまいますがみんなどこかしら凹凸があって、障害のない人はいないと考えています。また、特性をマイナスに捉えず活かした働き方が会社としてもより良い社会づくりに繋がると思っていることでどんな仕事があってもその仕事にぴったり合う人がどんな人なのかということの情報共有することが必要だと思っています。例えば同じことを何回も繰り返してこだわってしまう人も見方を変えればルーティン作業が得意でそのスキル自体が生産性の高い仕事になっていきます。



利用者さん インタビュー

- 1 仕事内容
- 2 成長、頑張っているところ
- 3 頑張りたいこと
- 4 大谷清運の印象
- 5 長く働ける環境を増やすために必要なこと
- 6 利用者の方と一緒に働く中で大切にしていること

- 1 ごみが混ざっていることが多いのでその選別をしています。
- 2 2時間かけて来ているところです。
- 3 通勤が遠くて大変なのでそれを頑張りたいです。

- 1 選別台でペットボトルと缶を仕分けしています。
- 2 見分けられるようになったところです。
- 3 集中力を高めて選別できるようにしたいです。

- 1 ペットボトルの仕分けです。缶など他のゴミが混ざっていることもあるのでそれを取り除く作業をしています。
- 2 一般的なゴミなので汚いものも多ありますが、それに対して抵抗がなくなった部分だと思います。これはどうやって分別するのだろう、とわからないものもあるので状況に合わせた対応ができています。その点では成長できていると思います。

- 3 愛情をもって働くことです。お互い気持ちよく仕事ができるように心がけています。
- 4 かなり気を遣っていただいていると思います。トラックの運転手さんが来た時にも優しさを感じる接し方をしてくれます。僕らも仕事がしやすいようにしてくれています。
- 5 どこに行っても適応できるように日々一緒に仕事を通して学んでいます。
- 6 笑いを大切にしています。面白さをお互いのコミュニケーションで大切にしています。



大山要さん

2024(令和6)年度 大谷清運(株)の主な取り組み

RB2000休憩所完成

R6/4/1

2階が休憩室、階下は処理後廃プラスチック類の置き場です。



『櫻井塾』開催(全11回)

R6/5/15~

『愛♥プロジェクト成長』として所属長などを対象に櫻井常務による『櫻井塾』を開催しています。



第3回 櫻井塾の様子

OS LiBソーター 「NEDO Challenge, Li-ion Battery 2025 発火を防ぎ、都市鉱山を目指せ！」 第3位入賞!

R7/1/22

大谷清運株式会社の挑戦「AI搭載型多目的LiB選別装置(OSLiBソーター)の開発」は、「NEDO Challenge, Li-ion Battery 2025 発火を防ぎ、都市鉱山を目指せ！」において、第3位に入賞しました。

本プロジェクトは、令和6年7月10日にファイナリスト7チームに選出され、令和7年1月22日に行われた最終審査で評価が確定しました。リチウムイオン電池による火災リスク低減に貢献する革新技術として、高い評価を得ました。

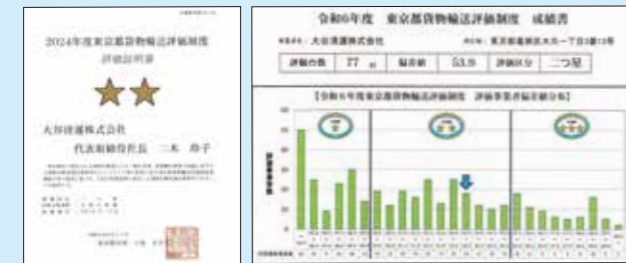


授賞式



東京都貨物輸送評価制度★★更新

R6/6/27



環境学習『ふれあい講座』

R6/10/4・18



毎年、近隣の小学校2校へむけて、環境学習を開催しています。

台貫(トラックスケール)の説明を受ける小学生

杉並区住民による工場視察

R6/10/30



杉並区の住民の方々がRE-BORN2000とRE-BORN2010へ視察に訪れました。

Hero's プロジェクト

R6/11/6~

4部門が組織の垣根を超え社内改善を横断的に行いました。



経営方針発表会で取り組みを発表する羽田取締役

『令和6年度 施設公開』開催

R6/11/9

毎年、工場RE-BORN2000とRE-BORN2010の近隣住民に向けて施設を公開しています。



『第4回 環境セミナー』開催

R6/11/20

文京区民センターにてお客さまをお招きして第4回目となる「環境セミナー」を開催しました。



「OSアネックス」完成!

R7/2/8



OSアネックス

令和5年9月15日に工事をスタートし、約1年半の期間を経て、本社隣接地の休憩所跡地に新拠点となる「OSアネックス」が完成し、令和7年2月8日に執行式が行われました。より快適な職場環境の整備と業務効率の向上を図ります。



屋上

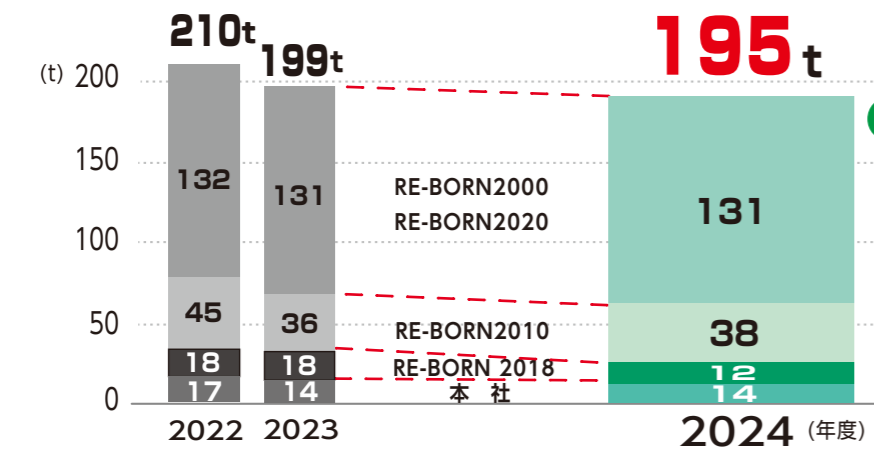
屋上
3階 会議室
2階 ロッカールーム、休憩室
1階 車庫、ロッカールーム



令和7年2月8日の執行式

2024(令和6)年度 大谷清運(株)の環境配慮への取り組み

CO₂削減



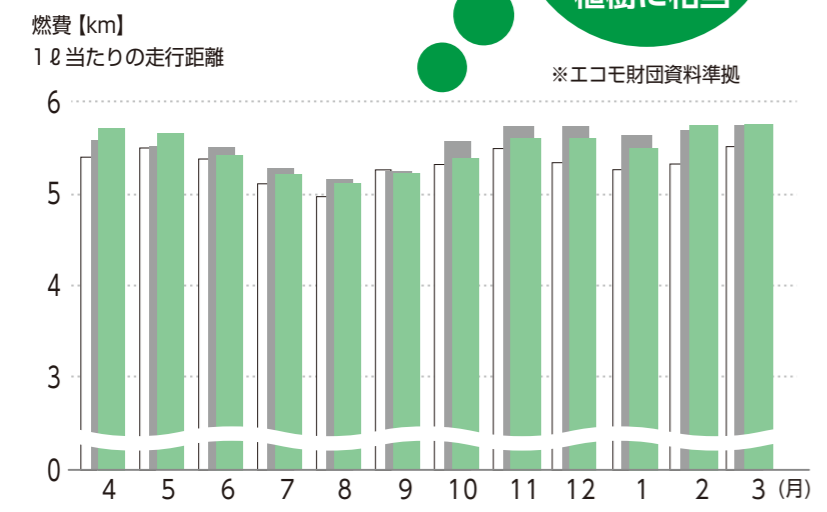
CO₂排出量
4t削減

東京都環境局
「地球温暖化対策報告書
エネルギーデータ」より



エコドライブ実施による 燃費削減量

□ 2022年度 ■ 2023年度
■ 2024年度



杉の木
-809
本分
植樹に相当

※エコモ財団資料準拠

(株) アスア：本社全体「燃費結果表」より

ノベルティグッズ、 プラゼロファイルで CO₂削減効果

クリアファイルをプラスチックから紙素材に変更しました。年間500枚をプラスチック製から紙製に置き換えたとすると

CO₂吸収量
年間59.2kg削減



杉の木
4本分
CO₂吸収量
に相当

第三者からの評価コメント



文京学院大学 副学長
人間学部 教授
工学博士

中山 智晴 氏

さらに、CO₂削減やエコドライブなど環境配慮の実践も着実に成果を上げており、環境負荷低減への責任ある姿勢がうかがえる。地域社会との連携にも力を入れ、環境学習講座や住民見学会などを通じて地域とともに発展しようとする姿勢は、社会的信頼の礎となっている。

総じて同社のCSR活動は、「人と環境の両立」という普遍的テーマを技術と行動で体現しており、社員の成長を通じて持続可能な社会づくりに貢献する姿勢は、地域や業界の模範となるだろう。

大谷清運株式会社のCSRレポートは、「ウェルビーイング企業」としての存在意義を、経営・環境・人材の三側面から具体的に示している点が印象的である。廃棄物処理にとどまらず、「働く環境」と「資源循環を守る環境」という二つの“環境”を重視する姿勢は、社会課題に真正面から向き合う企業の責任感を感じさせる。特に、AI搭載型LiB選別装置(OSLiBソーター)の開発によってリチウムイオン電池の火災リスクを低減し、資源循環社会の実現を目指す取り組みは、同社の革新性と未来志向を象徴している。

また、ダイバーシティ経営への意識も高く、社長と専務がともに女性であることをはじめ、性別や国籍、障がいの有無を超えて一人ひとりが自己表現できる職場づくりを進めている点は高く評価できる。外国人や障がい者の雇用にも積極的に、互いに学び合いながら成長できる文化が根付いている。これは、「人が成長できる場所でありたい」という経営理念に基づいた取り組みである。

評価項目	評価	好意を抱く点	改善を望む点
人権	3/3点	女性経営陣のもと、多様な人材が性別・国籍・障がいを超えて尊重され、安心して働ける職場文化を築いている点に好感を持ちます。	外国人や障がい者の意見を反映する制度化や、ハラスメント防止研修の充実など、人権尊重体制の強化を期待します。
労働	3/3点	社員一人ひとりの成長や自己表現を重視し、柔軟な働き方の推進など働きがいのある職場づくりに積極的な点を評価します。	労働時間やメンタルヘルスへの配慮をさらに進め、ウェルビーイングを軸にした健康的な労働環境を整備してほしいです。
環境	3/3点	OSLiBソーター開発によるリチウム電池火災防止など、環境課題を技術で解決し資源循環社会に貢献する姿勢を高く評価します。	CO ₂ 削減や省エネ効果など環境データの数値化と公開を進め、より透明性ある環境経営を目指してほしいです。
腐敗防止	3/3点	地域や行政との協働を通じて透明性の高い活動を行い、誠実で倫理的な企業経営を重視している姿勢に信頼を感じます。	内部通報制度の整備や定期的なコンプライアンス教育を導入し、腐敗防止方針を明確に打ち出すことを期待します。

3点満点中

編集後記

今回CSRレポートを作成するにあたって、自身が就職試験を受けた際に感じた会社への印象からテーマを決定しました。大谷清運は社長も専務も女性であり、女子大出身だった私にはとても安心感がありました。そこで女性活躍へ着目しインタビューを進めるなかで活躍に対して男性や女性で区別することなく一人ひとりがどのように活躍したいのか考えることが重要であると考えました。人生のほとんどを過ごす会社についてどのような人が関わっているのか知る機会となりました。インタビューを受けてくださった方々、貴重な時間をいただきありがとうございました。(経営管理部/経営管理課・川浪杏紗)



今回のCSRレポートを作成するにあたり、当社では外国人や障がい者、女性社員の方々が多く活躍していることから、当社を選んだ経緯を知りたいという思いが発端でした。そこで、多様な社員の仕事への熱意やキャリアへの想いに触れ、「自分がどう貢献したいか」という個人の意志こそが重要だと改めて感じました。インタビューを受けてくださった方々、貴重な時間をいただきありがとうございました。このレポートが、当社の活動と想いを共有し、皆様との対話を深めるきっかけとなれば幸いです。(文京支社/営業企画部・加藤千聖)

